

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 02 快適に移動できる交通基盤の整備

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
市内・市外への移動を円滑に行うことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市外への移動が円滑に行えると思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		【都市計画課】	87.3	88.9	-	92
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
		(---)	目標達成度	(---)	(---)	

指標	市内の移動が円滑に行えると思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		【都市計画課】	83.2	83.3	-	90
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
		(---)	目標達成度	(---)	(---)	

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共交通による移動手段の確保

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市内の移動に困っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	11.8	10.8	-	10	(---)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
		(---)	目 標 達成度	(---)	(---)	

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅前広場の整備率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	75	(横ばい)
評価	前年度の実績値に比べ、成果指標の変動はない。これは、三郷駅前広場の整備が着手に至っていないことが要因である。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達成度	(横ばい)	(達成)	

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅・駅周辺施設の利用者満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	71.1	72.4	-	75	(---)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
		(---)	目 標 達成度	(---)	(---)	

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅のバリアフリー化率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	100	(横ばい)
評価	前年度の実績値に比べ、成果指標の変動はない。これは、印場駅のバリアフリー化について、名鉄と概算費用及び整備方法等を協議しているところであり、まだ整備に着手できていないことが要因である。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達成度	(横ばい)	(---)	

基本事業03 幹線道路整備の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	自動車での幹線道路利用による満足度(%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	73.4	78.8	-	85	(---)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(---)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	歩道のバリアフリー化実施箇所数(箇所)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	355	361	380	390	☀️ (向上)
評価	歩道スロープ改良工事実施累積箇所数が、前年度の実績値に比べ、現状値が19ポイント増加した。年間の実施箇所数は前年度の6箇所から大幅に増加した。これは、前年度に比べ、施工内容の違いにより、1箇所当たりの施工単価が減少したためである。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	市民により生活道路等が維持管理されている箇所数(箇所)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	13	15	16	19	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1ポイント上昇した。これは道路の美化等に取り組もうとする団体に、アダプトプログラムへの参加を積極的に呼びかけたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	道路管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数(件)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	0	1	2	0	☔️ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1ポイント下回った。これは、道路損傷の状況把握が万全ではなかったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)